

緑のカーテン～ゴーヤ・アサガオ成長日記～(平成 24 年度)

環境課が育てる緑のカーテンも今年で 4 年目になりました。

この夏も『成長日記』として、皆様に報告していきます！



—10月1日(月)— ～撤収～



暑かった夏も終わり、そろそろ第 1 分館の緑のカーテンも撤収の時期になりました。

昨年採種した種を発芽させるところから始まり、今回の撤収まで長い間携わってきた今年のカーテンも、ひとまず終わります。



つるを片付け、カーテンの土台である木枠とネット、ロープ等を建物から取り外しました。

準備の時と同様に、けっこうな重労働です。



左の写真は、今年採れたゴーヤの種です。

大きめのビスケットの缶にびっしりと詰っています。

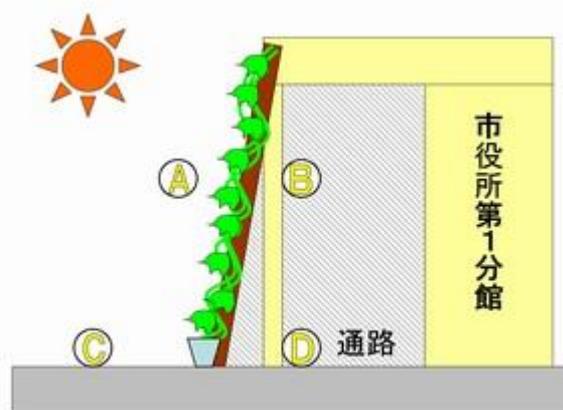
昨年の倍以上採れ、今年は過去最高の豊作でした。



アサガオの種もゴーヤ同様、たくさん採れたのですが、まだ種子が青いものが多いので、新聞紙を敷いて天日で乾かし、茶色くなつてから、種を採ります。

これらの種は、来年の緑のカーテンとなるため、大事に保存しておきます。

さて、夏の日差しを遮ってくれた緑のカーテンですが、どのくらいの効果があったのか、その設置効果を調べました。



カーテンの効果調べるため、左図のようにカーテンの外側と内側、それぞれ4箇所の温度を調べました。

	外側	内側
地表から150cm	A	B
地表面	C	D

8月中に6日間測定し、以下のような結果が得られました。

＜緑のカーテン 気温の測定結果＞								
実施日	時間	天候	温度(°C)					
			地面から150cm			地表面		
			A	B	温度差	C	D	温度差
8月16日	13:00		33.1	30.4	2.7	39.0	32.9	6.1
8月17日	13:00		33.6	30.1	3.5	40.8	32.2	8.6
8月20日	13:00		30.6	29.2	1.4	35.3	30.2	5.1
8月21日	13:00		29.5	28.1	1.4	32.7	29.3	3.4
8月22日	13:00		29.3	28.3	1.0	33.3	29.2	4.1
8月27日	13:00		30.4	28.3	2.1	37.3	30.2	7.1
6日間平均			31.1	29.1	2.0	36.4	30.7	5.7

カーテンの外側と内側とでは、地上150cmの位置では最大 -3.5°C 、6日間の平均で約 -2°C 、地表面では最大 -8.6°C 、6日間の平均で約 -5.7°C 気温の温度差がありました。

これらのことから、緑のカーテンには夏の日差しを和らげ、室内温度を下げる効果があることがわかります。環境課として、これからも緑のカーテンの取り組みを継続・推進していきます。

今回で今年の成長日記は終了します。

これまで見てきていただいた皆様、ありがとうございました。

来年もよろしくお願いいたします。





第1分館のゴーヤの実も採種の時期を迎えました。

左の写真のように、亀裂が入って中の赤い種が見えるようになったら種を採ることができます。

種は赤いジェル状の物に包まれているので、水で洗って種を取り出します。ちなみに、この赤いジェル状の物質は甘く、おそらく鳥に食べてもらい、種を遠くまで運ぶためだと思われます。



水洗いした種は、そのまま天日干して十分に乾燥させます。

しっかり乾いたら、紙等に入れて冷暗所で来年まで保管します。

【ここで注意！】

水分があると発芽してしまうので、皆さんも種を保管する際は、必ず乾燥した日の当たらない所で保管するようにしましょう。

さて、第1分館以外のカーテンですが、今回は次の2箇所をご紹介します。



左はアサガオで作った本館市民病院側自転車置き場前(市民税課横)のカーテンです。

プランターが3つと小規模ですが、2階の窓に届くほどの大きさまで育ち、立派にカーテンの役目を果たしています。



次に、第1別棟IT推進室入口(本館裏)のカーテンです。

ここは、毎年ゴーヤでカーテンを作っていますが、今年はメロンの苗と一緒に植えました。

ゴーヤと同じように大きく育ち、ちゃんとカーテンの一部になっています。



そして、今では写真の様な立派な実も成りました。

頂いたメロンの苗なので種類がわからないのですが、網目模様のメロンではなく、瓜に似たプリンスメロンのような実です。収穫時期を逃さないよう、注意して見守っています。

環境課の第1分館でも、次回は今までと違ったカーテンに挑戦してみたいと思います。





梅雨も明け、連日の厳しい暑さに比例するように、第1分館のカーテンも写真のように大きく成長しています。

背丈は木枠の上の方まで伸び、幅も広がってきました。

緑のカーテンもほぼ完成といったところです。



前回小さかったゴーヤの実ですが、今では写真のように大きくなり、収穫の時期を迎えているものもいくつかあります。

毎年、環境課が育てる緑のカーテンは、来年年用の種をとるため、そのほとんどを収穫することなく完熟するまでおいておきます。

夏の味を賞味したいところですが、ここは来年のため、ぐっと我慢です。

さて、第1分館以外のカーテンですが、いずれも大きく育っています。
今回は第2分館教育委員会事務局のカーテンについてご紹介します。



第2分館では、毎年ゴーヤ、アサガオ
(西洋アサガオと琉球アサガオ)で
カーテンを作っています。



琉球アサガオは左の写真のように西洋
アサガオに比べ葉が大きく、花をつける
時期が長いため、カーテンには最適です。



琉球アサガオは通常、単色(青色)で咲きますが、このカーテンでは左のようにマーブル状の花が咲いています。

これは、第2分館のカーテンも、前年度にとれたカーテンの種をまいているため、西洋アサガオとの交配が年々進んだ結果だと考えられます。

ところで、「松阪市環境パートナーシップ会議」では、毎年「緑のカーテンコンテスト」を開催しており、優秀作品を表彰してホームページ上で紹介しています。

今年の募集期間は、8月13日(月)～8月31日(金)です。

多くの皆様のご応募をお待ちしています！

詳しくは、[「緑のカーテンコンテスト」](#)をご覧ください。





第1分館の緑のカーテンにゴーヤの実を発見しました。

大きさは7～8cmほどで、ちょうどカーテンの裏側にあるので、見落としてしまいそうです。

約1ヶ月間、職員が交代で朝夕欠かさず水やりをしてきたので、喜びもひとしおです。



左は、カーテンを作っている時に
見つけたキノコです。

これは、連日の雨のせいで水はけが悪くなっている、土が乾く間もないため、生えたと思われます。

ゴーヤやアサガオに特に害を与えるわけではないのですが、ここは早々に退散していただきました。

梅雨の時期は根腐れしないよう、水やりにも充分注意が必要です。

さて、第1分館以外のカーテンですが、
今回は第3分館上下水道部本館側にあるカーテンをご紹介します。



ここでは、ゴーヤと夕顔でカーテンを作っています。

夕顔は瓜科のつる性植物で、瓢箪(ひょうたん)の仲間です。

この実を細長く剥いて、天日で干したものが干瓢(かんぴょう)で、お寿司の具材としてもよく使われます。



左が夕顔の花です。

夏の夕方に開花した花が朝にはしぼんでしまうことから、この名がつけられたそうです。

白くて綺麗な花ですが、夕方～夜しか見ることが出来ないのも、その頃に第3分館付近を通られた方は、是非夕顔の花を見て行って下さい。



第1分館の緑のカーテンにも、花が咲き始めました。



左の黄色い花はゴーヤの花です。

ゴーヤの花には雌雄があつて、それぞれ次のような特徴があります。

雄花は…

- ・花びらがややすぼまっている。
- ・シベ(真ん中の部分)が黄色く、花粉がついている。
- ・額の後ろに何もついていない。
- ・たいてい夕方までには花が落ちてしまう。



雌花は…

- ・花びらがやや開き気味。
- ・シベ(真ん中の部分)が黄緑色で先が割れている。
- ・花の後ろが膨れている。
(ミニゴーヤが付いている。)
- ・花が落ちずにしぼんで残る。

ということで、上の写真が雄花で、左の写真が雌花になります。

ちなみに、現在第1分館で咲いているゴーヤの花のほとんどが雄花で、雌花は数えるほどしかありません。雌花は孫づるに多く咲くそうなので、子づるの摘芯も行っていこうと思います。



一方、アサガオは幾つもの大輪の花を咲かせており、今は紫色の花が咲いています。

花の大きさを測ると、直径が 10cm 近くもあり、ゴーヤの花の 5 倍ほどもあります！

梅雨が明ける頃には、様々な色で皆の目を楽しませてくれるはずです。

前回、第 1 分館以外の「緑のカーテン」について触れましたが、今回から順番に詳しくご紹介していきます。



左は、市役所本館 3 階テラスで作成中のカーテンです。

ここはスイカズラ、テイカカズラ、ツリガネカズラ、ムベ、ナツユキカズラ、ツルウメモドキ、アケビの 7 種類の植物で出来ていて、中でもナツユキカズラが大きく伸びています。



写真はナツユキカズラの花ですが、遠くから見ると緑の葉に白い雪が積もっているように見えることから、この名前がついたそうです。

3階テラス全体を覆う立派な緑のカーテンになるにはまだ数年かかりそうですが、段々と成長していく姿を眺めつつ、楽しみに待ちたいと思います。



—6月27日(水)— ～摘芯(てきしん)をしました！～



前回の日記から約2週間、ゴーヤとアサガオはぐんぐん伸びて、着実にカーテンを作成してくれています。

この位になったら、ゴーヤに「摘芯」を行います。



これは、1メートル位に伸びた親づるの先端を摘み取ることで、それにより脇から多くの子づるが伸びて、横に広がる大きなカーテンを作ることができます。

ちょっとかわいそうな気もしますが、大きく立派なカーテンにするためには必要なことなのです。

市役所では、この第1分館以外でも緑のカーテンを作っています。
その中の一部を紹介します。



第2分館教育委員会事務局入口右側



第3分館上下水道部本館側



第1別棟IT推進室入口(本館裏)



本館市民病院側自転車置き場前(市民税課横)



本館3Fテラス(正面入口側)

これらのカーテンについても、
折にふれて紹介していきます。



—6月13日(水)— ～今年の夏も「緑のカーテン」はじめます～



5月24日に、環境課がある第1分館前に緑のカーテンの木枠を設置しました。

強風で倒れないようにロープでしっかり固定するので、毎年大変な重労働です。



木枠の外側(駐車場側)にはアサガオを、内側にはゴーヤを植えました。

ゴーヤは今年も使用済発泡スチロールで作った手作りのプランターです。

ゴーヤの根は深く張れば張るほど大きく育つので、大きめの発泡スチロールを2段重ねにしました。

立派なカーテンに育つよう、頑張ります！！

